

レジメン番号 **g085** レジメン名 **nal-IRI+5-FU+LV(中心静脈ポートあり)**

1クール **2週** 催吐リスク(レジメン) **中等度催吐リスク**

薬品名	用量	投与日
オニバイド注	70mg/m ²	day1 UGT1A1の結果次第で50mg/m ²
レボホリナート注	200mg/m ²	day1
フルオロウラシル注	2400mg/m ²	day1,46時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
オニバイド注	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、下痢、間質性肺炎 UGT1A1検査、止瀉薬(ロペラミド)を適宜使用
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注:RNA合成阻害(骨髄抑制に関与)、持続静注:DNA合成阻害
レボホリナート注	—	フルオロウラシルによる副作用が強くなる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める